

男は囚人。
女は人妻。
愛、狂おしく
命果てるまで

燃えわきるまで

MRS. SOFFEL

ダイアン・キートン/メル・ギブソン/マシュー・モーディン/エドワード・ハーマン/トニー・アルバラード

監督 ギリアン・アームストロング 製作 エドガー・J・シェリック スコット・リーディン デヴィッド・A・ニクセイ 脚本 ロン・ナイスワナー 撮影 ラッセル・ボイド, A.C.S. 音楽 マーク・アイシャム MGM/UA映画 〈カラー作品〉 UIP配給



一九〇一年、エドとジャツツのビードル兄弟は、ピツツバーグ郊外の食料品店主トマス・D・カーター殺害事件で有罪となつた。だが、死刑執行まであと二ヵ月足らずというある冬の日に脱獄した。

当時のある閑徧は、この事件を「二十世紀に於ける最悪の犯罪」と表現した。ビル兄弟の犯行を言つたのはなく、ふたりの逃亡に手を貸した人物の事をさしたのである。その人物とは、刑務所長夫人のケイト・ソッフルであった。

死刑執行までのわずかな期間をすぐじた刑務所で、エドとケイトは恋におち、脱獄して恋の逃避行を演じたのだ。事件が大変なスキヤンダルを巻き起こしたことは、い

うまでもない。しかし、運命的に始まつたこの恋は、死によつて完結したのではなかつた。ふたりのうちのひとりが生き残つたからである。今世紀初め、数週間にわたつてピツツバーグの新聞の第一面を賑わせたこの実話を映画化したのは、オーストラリアの女流監督ジリアン・アームストロングである。彼女はショックキングかつパワフルなこの恋の主人公たちを、オスカー女優のダイアン・キーテンと、いま最も脂ののりきつていけるメル・ギブソンで撮ることに決めた。

D・キーテンは信仰心厚く良き田でありながら、命を賭けた人生の選択を迫られ、不安におののきながらも愛への道を選ぶケイト・ソッフルを演じている。彼女がこれまでに演じたどんな女性よりも、強く、複雑で、成熟した女であるともいえよう。

解説



愛である。ケイト・ソッフルの情熱は、すべての男の心に、すべての女の胸に、秘められてゐるとは言えないだろうか。

アームストロングは言つた。「これは他のすべてを超えてしまつたラブ・ストーリーです。一度も恋をしないより、恋をして失つた方がいい」という金言がありますが、それこそがこの映画のテーマなのです。

当時の資料を研究して脚本を書いたのは、スザン・サイテルマン監督『マドンナのスザン』を探してこの処女作『スミサリーンズ』などを手掛けたロン・

ナイsworth。彼が最も熱中したのが、記録にない部分。すなわち、死刑囚の監房を訪ねるケイトとエドの間に交わされ、恋を貽めていつた会話部分であつた。

撮影は英アカデミー撮影賞を獲得した『ピツツバーグatハーリングクロック』や『危険な年』などで美しい映像作りに定評のあるラッセル・ボイドが担当。実際の服役者をエキストラに使つた監房シーンと、スケールの大きな雪原を舞台にしたスピード感あふれる逃走シーンのコントラストは見事である。

重厚で美しい音楽は『ネバー・フライ・ウルフ』のマーク・アイシャム。

その他のキャストには、エドの弟ジヤツ

クに『ホテル・ニューハンプシャー』『バーティ』などで活躍のめざましい青春スター、マシュー・モティン。ケイトの夫ピーターに『ペーパーチェイス』『レッツ』『カイロの紫のバラ』、アメリカではテレビで演じたラルフ・クライン、ルースベベル(エミー賞受賞)の印象が強いペテラン、エドワード・ハーマン。長女アイリーンに『タイズ・スクエア』のトニー・アルバラード。

次女マーガレットに『ホテル・ニューハンプシャー』で成長が止まつてしまい、作家となるリリー役を演じたジエイ・ターダンダス。エドの元恋人に『リトル・ドラマ・ガール』『フレッシュ』のダナ・ウイラー、『ゴルゴン』十歳のエディに『天使の失踪』で誘拐される少年を演じたダニー・コレギルと共に演じたものを相手の中に見出したからである。欠けていたものとは、

燃えさかるまぐ

N.E.S. SOFFER

〈スタッフ〉

監督.....ジリアン・アームストロング
脚本.....ロン・ナイsworth
撮影.....ラッセル・ボイド、A.C.S.
音楽.....マーク・アイシャム

〈キャスト〉

ケイト・ソッフル.....ダイアン・キーテン
エド・ビードル.....メル・ギブソン
ジャック・ビードル.....マシュー・モティン
ピーター・ソッフル.....エドワード・ハーマン

PARCO 渋谷 SPACE PART 3 PART 3
PART 3
8F

上映時間(連日) 12:15 2:30 4:45 7:00

お問い合わせは (477) 5858

六本木俳優座シネマテン

連日夜10時開映

夜10時以外の日の追加上映は下記の通りです。

11月29.30/12月26.27.28	1:00	3:15	5:30	7:45	10:00
12月7.14／1月11.13.15.18.20			5:30	7:45	10:00
1月12. 14. 16. 19. 21	12:00	2:10			10:00

お問い合わせはPM1:00~6:30 (401)4073

PM8:30~11:30 (470)2880

●12月29日~1月5日は休映

11月29日より
ロードシヨー

特別鑑賞券1,200円発売中

(当日一般1,500円／学生1,300円の処)